

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の紹介

渡良瀬遊水地は2012年7月に国際的に重要な湿地であることから、ラムサール条約湿地に登録されました。

ラムサール条約の目的に掲げられた「**湿地の保全**」と「**湿地の賢明な利用**」に向けて、遊水地の歴史を踏まえつつ、「**遊水地の治水機能の向上**」、「**積極的な自然環境の保全再生**」、「**様々な利活用の促進**」、「**地域振興**」を図るため、関係機関や周辺住民・利用者等が十分に対話を行うことを目的に設立された協議会です。



協議会に関する情報はこちら→



渡良瀬遊水地に関するイベント情報はこちら→



発行者：渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
事務局：国土交通省利根川上流河川事務所 調査課
〒349-1198 埼玉県久喜市栗橋北2-19-1
TEL0480-52-3958
発行年月：2019年7月

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 構成団体の紹介

協議会は渡良瀬遊水地がある自治体（4市2町）、自治会等地域の代表、渡良瀬遊水地に関係する各種団体、関係官庁で構成されています。

ラムサール湿地ネットわたらせ ① TEL 0285-25-6577（事務局 浅野正富法律事務所内）
HP: <https://watarase.link/>

《活動内容》遊水地の賢明な利用のための保全・普及啓発活動

2006年に設立した「渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会」が条約湿地登録の1年後の2013年に現在の名称に改称しました。登録後の遊水地の賢明な利用の実現のため、保全・普及啓発等様々な活動を行っています。

渡良瀬遊水池を守る 利根川流域住民協議会 ② TEL 0282-23-1078（猿山方）
HP: <http://watarase-kyougikai.org/>

《活動内容》生きもの調査、観察会、貴重種保護活動、国交省との話し合い、講演会主催など

1990年(平成2年)に発足しました。市民サイドから渡良瀬遊水地の望ましいあり方を追求してきました。遊水地周辺自治体を含めた、自然と歴史の野外博物館構想「エコミュージアムプラン」の発信も続けています。

わたらせ未来基金 ③ TEL 090-6938-5490（事務局 内田孝男）
HP: <https://watarase-mirai.jimdo.com/>

《活動内容》渡良瀬遊水地環境保全活動、足尾山地緑化推進活動

ラムサール条約登録地、渡良瀬湿地帯の環境保全を行ないつつ、この地をエコミュージアムとして次世代に繋ぎ、様々な面で利用していく事、並びに渡良瀬川上流足尾山地が緑を取り戻し、その恩恵を下流域に分け与えてくれるよう、緑化推進を図る事を目的としています。年間通して渡良瀬遊水地や足尾で催しを行なっていますので、是非ご参加、またご入会していただき活動の意義をご理解いただくとともに、将来を創っていきませんか。活動の一端で、渡良瀬のヨシ利用のため作成したたい肥「ヨシ腐基土」も販売しています。花や野菜にお勧めです。



撮影:写真家 堀内 洋助氏

ラムサール条約湿地 渡良瀬遊水地 湿地の保全と賢明な利活用を目指して



協議会 構成団体の紹介
コウノトリ・
渡良瀬遊水地関連イベント情報

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会



撮影:写真家 堀内 洋助氏

谷中村の遺跡を守る会 ④ TEL 0282-62-3006
HP: <http://www.cc9.ne.jp/~kane-gon/>

《活動内容》谷中村遺跡の保全と谷中村縁故者からの聞き取り

谷中村 村民および子孫の苦難を忘れないために、谷中村遺跡の草取りを行い、また歴史を調べ、縁故者からの聞き取り、および関連地のフィールドワークを行っています。

渡良瀬遊水地ガイドクラブ ⑤ TEL 0282-62-1301(渡良瀬遊水地ハートランド城)
HP: <https://www.city.tochigi.lg.jp/soshiki/6/1369.html>

《活動内容》渡良瀬遊水地のガイド

2015年3月発足。ハートの谷中湖周辺で、遊水地の魅力をわかりやすく丁寧に伝えることをモットーにガイド活動しています。黄緑色のベストが目印です。お気軽にお声掛けください。

- ◆活動日：閉園日を除く毎日
- ◆活動時間：午前10時～午後2時
- ◆料金：無料
- ◆団体は要予約。

小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会 ⑥ TEL 0285-22-9354（事務局 小山市渡良瀬遊水地ラムサール推進課）

《活動内容》渡良瀬遊水地と小山市下生井地区における観光、及び、自然観察ガイド

おやま市民大学で2年間にわたり、渡良瀬遊水地の生立ちや、自然環境を学んだ精鋭ガイドが遊水地の良さをあますところなくガイドします。野鳥や植物観察、環境学習のお手伝いをします。下生井の文化・歴史遺産のご案内もする他、環境保全のボランティア活動も行います。

一般社団法人 栃木市熱気球クラブ ⑦ TEL 090-3245-4388(神島)

《活動内容》熱気球による係留の搭乗体験

当クラブのHP があります。| 栃木市熱気球クラブ | で検索して下さい、詳しい情報が明記されています！※係留とは、船舶がロープで繋がれている状態と同様熱気球の籠(ゴンドラ)が四方をロープで繋がれていて10m～15mの高さまで上がったたり下がったりして、搭乗して頂く体験です。



渡良瀬遊水地

栃木・茨城・群馬・埼玉の4県4市2町にまたがり、面積3,300ha、本州以南最大の湿地で、治水の要として首都圏の生命・財産を守っています。

2012年7月には、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(ラムサール条約)」に登録された、国際的に重要な湿地です。

絶滅危惧種のチュウヒをはじめ、貴重な動植物が多数生息する「自然の宝庫」です。

コウノトリ

かつては日本各地で大空を舞っていましたが、圃場整備や河川改修による生息地(湿地)の減少と、農業の使用などによる生息環境の悪化が原因で、一度は日本から姿を消しました。絶滅前に最後の生息地となった兵庫県豊岡市では、1965年から人工飼育と野外の生息環境保全が取り組みられ、2005年からは放鳥が行われています。その後、千葉県野田市や福井県越前市でもコウノトリの野生復帰に向けた取組が始まり、現在は約140羽が野外に生息します。渡良瀬遊水地では累次に飛来が確認され、特に2018年には長期間滞在して巣作りをするなど、遊水地を拠点にしたエリアへの定住に期待が高まっています。

肉食性で湿地生態系の頂点に位置するコウノトリが生息するという事は、渡良瀬遊水地には生き物がたくさんいる自然豊かな場所であるという証です。渡良瀬遊水地には希少種を含めて数多くの動植物が生息していますが、それらと同様にコウノトリも希少な鳥です。

渡良瀬遊水地にはコウノトリ以外にも多様な動植物が生息・生育する豊かな自然環境があります。自然観察にはこれらの資料も参考にしてください。



遊水地周辺の水田で採食するコウノトリ

コウノトリってどんな鳥？
【体長】約100～110cm(翼を広げると約200～220cm)
【体重】4～5kg
【分布】ロシア極東地方や中国東北部などが主な繁殖地。
中国の長江中流域、韓国、台湾、日本で越冬。
【生息環境】主に湿地
(湿原、湖沼、河川、水田、遊水地など)
【行動範囲】巣の場所を中心に概ね半径2km
【食性】肉食性で、ドジョウ・フナなど魚類をはじめ、ヘビ、カエル、バッタなど多様な動物を採食。
飼育下では1日約500gを食べます。



栃木県下都賀漁業協同組合 ⑧ TEL0285-22-0402
HP: <http://shimotsuga-fc.org/coop.html>

《活動内容》水産資源の管理及び各魚族の増殖管理

鮒、ワカサギ、ウグイ等の放流増殖事業。原発事故による放射性物質の魚類への影響検査。ゴミ拾い等の諸活動。特に小山市主催の外來魚駆除「おさかなワイワイ大作戦」は多くの人達の参加を得て実施されています。また当日は他の内水面では見られない160メートルの地引網を子供から大人まで参加し引き上げる姿は迫力があります。皆さんの参加をお待ちしております。

渡良瀬遊水地野鳥観察会

《活動内容》渡良瀬遊水地における野鳥観察会の実施

渡良瀬遊水地における野鳥観察会の実施
月1回の野鳥観察会・野鳥調査の実施、野鳥写真展の開催
観察場所：谷中湖、野木官地、第1調節池、第2調節池
野鳥調査例：オオセッカの繁殖調査(夏)、チュウヒのねぐら入り調査(冬)、第2調節池大型鳥採餌休息実験地野鳥調査

コウノトリ・トキの舞うふるさと おやま をめざす会

《活動内容》コウノトリ・トキの野生復帰に関する情報発信、市民への普及・啓発活動

コウノトリ・トキの野生復帰や、多様な生物が生息できる環境づくりを推進するため、これらの取組への参加や、情報発信、普及・啓発活動を行っています。入会希望の方は、お問合せください。

渡良瀬遊水地関連地域活性化協議会

《活動内容》渡良瀬遊水地関連地域の安全を守る取組及び地域活性化に繋がる活動

生井地区に隣接している渡良瀬遊水地は、利根川流域の治水の要であり、また、ラムサール条約湿地にも登録された、豊かな自然を有している場所でもあります。そのため、国や市により、湿地再生への取組や、治水機能の向上等、様々な整備が行われ、更には、遊水地を有効活用し地域活性化を推進する活動も広がっています。こうした中、当協議会では、生井地区の活性化と安全な暮らしを守るために、地域住民と共に活動しています。

ミカモライディングクラブ

《活動内容》乗馬クラブ

ミカモライディングクラブは万葉集にも詠まれた三叢山を背景に、近くには渡良瀬遊水地、佐野プレミアムアウトレットなど、都心から車で約60分と好アクセスの地にあり、静かにゆったりとした乗馬を楽しめるアットホームな乗馬クラブです。

渡良瀬遊水地に飛来したコウノトリ

コウノトリの生息環境を保全・再生する取組が始まっています。渡良瀬遊水地周辺の水田で採食できるように、ふゆみずたんぼやなつみずたんぼに取組む農家が増えています。

エリアへの定住促進のため、遊水地にはデコイ(鳥が仲間の姿を見つけて集まる習性を利用した模型)が設置されました。巣をつくるための人工巣塔も設置されています。



デコイに近づくコウノトリ(一番左が本物です)



人工巣塔へ巣材を運ぶコウノトリ(撮影：内田孝男氏)

わ 分かち合う、私たちの良い環境

利用者同士のトラブルを防止し、地域の環境を分かち合しましょう。ストロボを用いた写真撮影はしない、ゴミは持ち帰る、犬の散歩はリードをつけて、などルールを尊重して、気持ちよく利用しましょう。

た 食べ物をあげないで

野生生物へのエサやりは、食べ物を獲得する能力を低下させたり、感染症を誘発したりすることがあります。人工的なエサに慣れると人を襲ったり、作物を荒らしたりする被害につながる場合もあります。

ら 来訪時には細心の注意を

農地(田や畑、あぜ道)などの私有地、河川管理施設などの立入禁止区域には無断で入らないでください。田畑では、農作物の毀損や病原菌媒介の恐れがあります。立入制限は植生保全のほか、自身の安全を守る意味もあります。自動車は、駐車位置に注意しましょう。

せ 接近しすぎない

神経質で臆病な野生生物は、危険を感じると別の場所へ移動してしまいます。抱卵期や子育て期には、卵やヒナを放棄してしまうこともあります。稀に好奇心旺盛で近づいてくる個体もいますが、驚かさないう急な動きはせず、ゆっくりと退避するか相手が離れていくのを待ちましょう。(コウノトリ生息地の先進地域では、150m以上離れて観察することが推奨されています。)

・ 渡良瀬遊水地第2調節池周辺地区治水事業促進連絡協議会	思川、巴波川そして渡良瀬遊水地第2調節池に囲まれた自然豊かな田園風景の素晴らしい地域に住む人々の生命と財産を守るため、治水事業の促進に取り組んでいる団体です。
・ 思川右岸生井地区堤防強化対策協議会	
・ 巴波・永野川築堤、堤防改修工事対策協議会	
・ 野木町川西地区治水事業促進連絡会	
・ 藤岡町巴波川周辺地区治水事業促進連絡協議会	

・ 小山市渡良瀬遊水地治水推進・ラムサール賢明な活用・周辺整備推進期成同盟会
・ 渡良瀬遊水地スポーツ利用者等連絡協議会
・ 特定非営利活動法人 スカイダイブ藤岡
・ 渡良瀬遊水地利用組合連合会



・ 古河市行政自治会	・ 藤岡土地改良区
・ 部屋地区自治会連合会(栃木市)	・ 思川西部土地改良区
・ 藤岡地区自治会長会(栃木市)	・ 古河市教育委員会
・ 赤麻地区自治会連合会(栃木市)	・ 栃木市教育委員会
・ 生井地区自治会連合会(小山市)	・ 小山市教育委員会
・ 野木区(野木町)	・ 野木町教育委員会
・ 板倉町行政区長会	・ 板倉町教育委員会
・ 加須市自治協力団体連絡会北川辺支部	・ 加須市教育委員会

・ 一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 ⑨ TEL0282-62-1161

・ 古河市 ⑩ TEL0280-92-3111	・ 環境省関東地方環境事務所野生物種課
・ 栃木市 ⑪ TEL0282-62-0919	・ 国土交通省利根川上流河川事務所
・ 小山市 ⑫ TEL0285-22-9354	
・ 野木町 ⑬ TEL0280-57-4260	
・ 板倉町 ⑭ TEL0276-82-1111	
・ 加須市 ⑮ TEL0280-61-1205	

※団体の○番号は裏面のイベント情報の問合せの番号と対応しています。

